

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	内分泌代謝科
2	診療科紹介	糖尿病、脂質異常症や肥満症などの「生活習慣病」に対して、多方面からの総合的診療を行っています。また、視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎などの内分泌疾患に対しても、専門性の高い診療を行っています。
3	臨床研修指導医	矢作 直也、海老原 健、岡崎 啓明、倉科 智行、武井 祥子、犀川 理加、近藤 泰之、櫻井 百恵
4	研修概要（特徴）	入院患者の担当医となり、上級医の指導のもと医師としての人格および診療能力を学ぶと共に、症例数の多い糖尿病を中心とした代謝疾患や視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎などの内分泌疾患の症例を経験することができます。また希望に応じ、臨床研究にも参加できます。
5	研修内容（方略）	主に入院患者を担当し、診断・治療にあたります。希望があれば外来診療も経験することが可能です。
6	到達目標	(1)一般目標（GIO） プライマリ・ケア研修に役立つ、内分泌代謝疾患の基本的な検査・診断や治療を学ぶ。
		(2)個別目標（SBO） 1. 糖尿病、脂質異常症などの代謝疾患、視床下部・下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌疾患を経験する。2. チーム医療を重視した診療を行う。3. 病態生理を理解し、診断・治療のための基礎的な臨床能力を身につける。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	病棟
7-2	月曜日（午後）	病棟
7-3	火曜日（午前）	病棟
7-4	火曜日（午後）	病棟
7-5	水曜日（午前）	チャートカンファランス、症例検討会
7-6	水曜日（午後）	病棟
7-7	木曜日（午前）	病棟
7-8	木曜日（午後）	病棟
7-9	金曜日（午前）	病棟
7-10	金曜日（午後）	病棟
8	経験できる症例	糖尿病、脂質異常症、肥満症、甲状腺疾患、視床下部・下垂体疾患、副腎疾患、骨・カルシウム代謝性疾患など
9	指導医からのメッセージ	指導医2人と研修医の計3人がチームとなり診療します。日々の診療、週1回の回診、症例検討会において、症例毎の問題点の共有と解決へ向けて努力しています。糖尿病に関しては、食事療法については管理栄養士、運動療法については理学療法士と連携するなど、多職種連携を重視した診療を行っており、糖尿病センター合同カンファランスも定期的に開催しています。これらの過程を通じて、糖尿病や内分泌代謝疾患への理解を深めていきます。